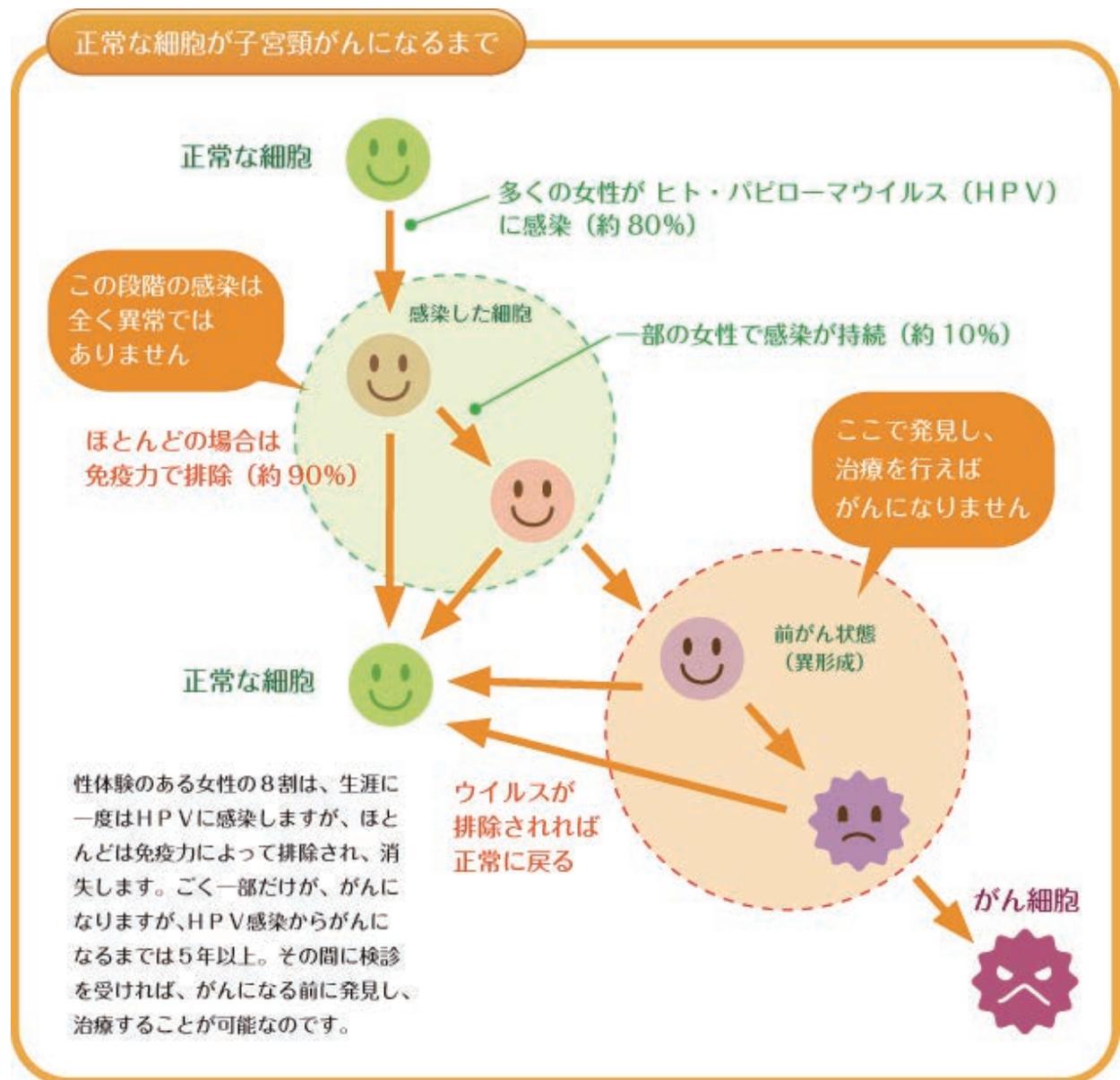


HPV（ヒト・パピローマウイルス）検査のご案内

子宮頸がん検査には、子宮頸部の細胞の変化を調べる『細胞診』と子宮頸がんの原因であるウイルス（HPV）に感染しているかを調べる『HPV検査』があります。これまでは細胞診が一般的でしたが、近年HPV検査を加える検査方法が広まりつつあります。従来の細胞診にHPV検査を併用することで、前がん病変を高感度に発見することができます。これにより、見落としがなくなり子宮頸がんを未然に防ぐことができます。



HPV検査とは

HPV検査では、子宮頸がんの主な原因となるハイリスク型HPVに感染しているかどうかを遺伝子レベルで検出するとともに、特にリスクの高いHPV16型と18型に感染しているかも特定できます。

検査方法について

子宮頸部の細胞をブラシなどで採取して顕微鏡で調べます。細胞診検査で採取した細胞で検査ができるので、検査を受ける方の負担と検査時間は今までと変わりません。

※ 子宮頸部細胞診検査後1ヵ月以内であれば、検査時に採取した細胞でHPV検査を追加することができます。ご希望の方はお問合せください。（広域健診を除く）